

2010年9月  
歴史 No. 1

## けんぱくものしりシート

どうぞうかんのんぼさつりゅうぞう

# 銅造観音菩薩立像



わたしは、今からだいたい1300年以上も前の奈良時代の少し前につくられた岩手県内で一番古い仏像です。今日はみなさんに私、観音菩薩について知っていただこうと思います。私は観世音や観自在ともいいます。これらの名前には「世の音を自在に聞き取る者」という意味があります。なぜこう呼ばれているかといいますと、「みなさんが苦しんでいる時に私の名前を懸命にととなえてくだされば、その音を観てすぐに救う力を持っている」からです。

ほうかん 宝冠、ネックレス(瓔珞)  
うでわ ひせん  
に腕輪(臂釧)。これらは、  
むかし  
昔のインドの貴族がしていたといわれるアクセサリーです。

さと  
悟りを得た如来がアクセサリーを全くつけていないのとは違って、菩薩はお釈迦様が王子だったころをモデルとしているため、ありとあらゆるもので身を飾っています。

もりおか し げんしょうじ  
盛岡市 源勝寺  
どうぞうかんのんぼさつりゅうぞう  
銅造観音菩薩立像  
じゅうようぶんかざい  
重要文化財



あたま かんむり いただ  
頭の冠に戴いた  
ちい ほんけさま  
小さな仏様がみえます  
か？ 私の目標で尊敬  
わたし もくひょう そんけい  
し、お仕えする阿弥陀さまを冠につけています。  
これを、化仏といいます。

わたし によらい  
私のように如来  
ほんけ しゆぎょう  
(仏)になろうと修行  
しているものを菩薩と  
いいます。お地藏さんも  
しゆぎょうなかま  
修行仲間です。

わたし おお ほうほう すく へんしん  
 私はより多くのみなさんその人にあった方法で救うために、変身しま  
 せんじゆかんのん じゅういちめんかんのん ふくうけんじやくかんのん ばとうかんのん によいりんかんのん  
 す。千手観音、十一面観音、不空羅索観音、馬頭観音、如意輪観音、そ  
 すがた か まえ わたし しょうかんのん ろくかんのん よ  
 して姿を変える前の私・聖観音をあわせて六観音と呼ばれています。  
 ばとうかんのん によいりんかんのん しょうかい  
 ここでは、馬頭観音と如意輪観音を紹介します。



し わちよう こじんぞう  
 紫波町 個人蔵  
 ばとうかん ぜおん ぼさつ  
 馬頭観世音菩薩

によいりんかんのん みぎ  
 如意輪観音です。右  
 て も  
 手に持っているのは、  
 おも ほ  
 思いのままに欲しいも  
 のが手に入る宝珠で  
 て はい ほうじゆ  
 す。みなさんを苦し  
 みる  
 から救います。

わたし よくほう いか  
 私は欲望や怒り、  
 にく なや  
 憎しみからおこる悩  
 みや苦し（煩惱）  
 くる ぼんのう  
 を断ち切り、馬が草  
 た き うま くさ  
 を噛むように噛み碎  
 か くだ  
 きます。煩惱に立ち  
 ぼんのう た  
 向かうために武器を  
 む ぶ き  
 持ち、怒ったような  
 おこ  
 顔をしています。



おうしゆうし しょうほうじ  
 奥州市 正法寺  
 によいりんかんのんぞう  
 如意輪観音像

うえ ばとうかんのん によいりんかんのん れきし てんじしつ てんじ さが  
 上の馬頭観音と如意輪観音は歴史の展示室に展示されています。ぜひ、探  
 てみてくださいね。

かいせつじん あべまいこ  
 【解説員 阿部麻衣子】

さんこうにしたほん 『かんのん ぼさつ じざい すがた を変える ききうさい かつしきがいはやくしゅうけんきゅうしゃ ねん  
 参考にした本 『観音菩薩 自在に姿を変える救済のほとけ』 株式会社学習研究社 2004年  
 『ずかい ぶつぞう みわけかた (ぞうほしんそうばん) ゆうげんがいはだいはりんかく ねん  
 『図解・仏像の見分け方(増補新装版)』 有限会社大法輪閣 2003年 ほか

らいげつ (がつ) の  
 けんぱくものしりシートは  
 みんぞく  
 民俗-1だよ！  
 おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>